

製品名: MyoD1 (5M4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14334**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, FC 1:10-1:100, IP 1:10-1:100
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	MYOD1
別名	Class C basic helix-loop-helix protein 1; MYF3; Myod 1; MYOD1; Myogenic differentiation 1; PUM;
遺伝子 ID	4654.0
SwissProt ID	P15172
免疫原	ヒト MyoD1 の合成ペプチド

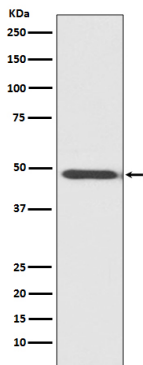
背景

筋分化に関与する（筋形成因子）。線維芽細胞を筋芽細胞へ分化させる。筋特異的プロモーターを活性化する。ツイストタンパク質と相互作用し、阻害される。この相互作用は、おそらく両タンパク質の塩基性ドメインに関与している。筋特異的標的遺伝子の転写を促進する転写活性化因子として作用し、筋分化に関与する。MYF5 および MYOG と共に、筋形成時に筋特異的遺伝子プロモーターコア領域を共存する。線維芽細胞を筋芽細胞へ分化させる。ツイストタンパク質と相互作用し、阻害される。この相互作用は、おそらく両タンパク質の塩基性ドメインに関与している（類似性に基づく）。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の MyoD1 発現のウェスタン プロット分析。